

県立歴史館事業 (歴史館「地域をもっと元気に」プロジェクト)

文化財・生涯学習課

1 事業目的

県立歴史館を「来館型」から「地域貢献型」歴史館へ転換するため、歴史を学ぶことから未来を考える地域活動の支援や地域活性化に生きる情報発信、地域課題を捉えた調査研究等に取り組む。

2 事業概要

【改革の方向性】

- ① 「歴史」を学ぶことから未来を考える、地域の活動を支援
- ② 「地域活性化」に生きる情報発信
- ③ 「地域課題」(環境・防災・山岳文化)を捉えた調査研究

【事業展開のイメージ】

「縄文王国」プロジェクト

H29・30 企画展「縄文土器展」等開催
H31 25周年特別展開催

「共知・共創」プロジェクト

- ・「歴史」を学ぶことから未来を考える、地域の活動を支援
- ・「地域課題」(環境・防災・山岳文化)を捉えた調査研究

「学校と地域の学び」プロジェクト

H29 おでかけ歴史館、「信州学ブックレット」作成
H31 25周年事業「信州の近現代コーナー」開設

「基礎体力強化」プロジェクト

- ・信州ゆかりの史料収集強化(史料購入費の充実)
- ・公文書館機能の再構築(公文書⇒廃棄文書⇒歴史文書収集のサイクル改善)
- ・プロジェクトを支える人員体制の充実
- ・H30 老朽化施設の大改修(空調・講堂天井耐震化・外壁タイル落下防止など)

3 平成29年度予算額 1億7852万3千円

(単位：千円)

主要項目		内容	H29
縄文王国	黒曜石研究	黒曜石原産地の実態究明	6,497
	企画展	縄文土器企画展の開催	
学校と地域の学び	おでかけ歴史館	歴史館の所蔵資料を持参し、南信地域の小学校や公民館において出前講座を実施	1,216
	信州学ブックレット	長野県の歴史を基調とする「信州学」に関するブックレット作成	
基礎体力強化	史料収集	信州にまつわる史料の収集	32,924
	公文書館機能の再構築	史料受け入れ時に燻蒸する窯の更新	
	人材の充実	臨時職員の増(おでかけ歴史館業務等)1人	
	老朽化施設大規模改修	外壁改修(設計)、耐震診断	
プロジェクト経費合計			40,637
歴史館の管理・運営に係る経費、常設展示等経費			138,782
計			178,523

